

約4,000年間、原因不明
だった尿が甘い病気

古代エジプトの最古の医書「パピルス・エベルス」(紀元前1550年頃?)に多尿で喉が渴き痩せる病気の記載がある。古代インドの伝統的医学アールヴェーダのもとで編纂された「シュルタ集成」(紀元前6世紀以前?)では、マトウ・マ(蜜の尿)と呼ばれ、「昼寝をむさぼり、体を動かさず、甘い飲物や脂肪質の食事をする怠惰な人が罹る」とある。(二宮陸男著「インスリン物語」から)

Diabetes Mellitus (糖尿病)は、dia-bainein(ギリシャ語:体から水が抜ける)+mel(ラテン語:甘い蜜)に由来する。古代から苦しんだ難病の原因物質としてインスリンが発見されたのは1921年、わずか100年前のことである。

健康♪外来ニュース

日本の糖尿病患者1,000万人、糖尿病予備軍1,000万人

インスリンは肝臓、脂肪、筋肉へブドウ糖の取り込みを促進して血糖を下げる唯一のホルモン。インスリン量が少ないかインスリンの働きが不十分なために、高血糖状態になって全身の代謝障害を生じる病気が糖尿病です。その約5%は膵臓ランゲルハンス島細胞からのインスリン分泌が障害された1型糖尿病(若年者、自己抗体(+)、家族歴(-))、約95%は過食や肥満からインスリン抵抗性(インスリンが効きにくくなる状態)を生じた2型糖尿病(中高年、家族歴・遺伝因子(+))です。尿が増え、喉が渴き、体重が減少して来たら糖尿病のサインです。空腹時血糖126mg/dℓ以上、HbA1c6.5%以上を示すと糖尿病と診断されます。

糖尿病を治療する目的は、全身の重篤な合併症を起こさないためです:神経障害(しびれ、起立性低血圧、勃起不全)、網膜症(網膜出血・剥離、失明)、腎症(蛋白尿、ネフローゼ、腎不全)、血管障害(心筋梗塞、脳梗塞、足の壊疽)など。当院では、食事療法、経口血糖降下薬、インスリン療法を用いて、入院・外来にて糖尿病治療ができます。

11月14日は世界糖尿病デー

インスリン発見者フレデリック・バンティングの誕生日1891年11月14日に因んで、世界保健機関(WHO)が決めました。シンボルの「ブルーサークル」は、青空と団結の輪を表す。毎年、世界各地で建物がブルーライトアップされるなどの啓発活動が行われています。



糖尿病の検査HbA1c(ヘモグロビンエイワンシー)とは何か?

赤血球中のヘモグロビン(Hb)は、血中のブドウ糖濃度に比例して一部が糖化ヘモグロビン(HbA1c)に変化します。HbA1c値(全Hbに占めるHbA1cの割合:%)には、直前1カ月の血糖値が約50%、2カ月前、3カ月前の血糖値が各々約25%反映されると言われています。合併症を予防するための治療の目標値は、空腹時血糖130mg/dℓ未満、HbA1c7.0%未満です。



医療法人 祥佑会

藤田胃腸科病院

〒569-0086 高槻市松原町17-36

TEL 072-671-5916

FAX 072-671-5919

健康♪外来

水曜日 14:00~17:00(要予約)

担当: 中嶋